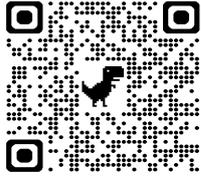


出前授業名	ペットボトルキャップはどのようにリサイクルされるのか考えよう！	
対象科目	総合的学習・社会・技術家庭(授業の目的に対して内容は調整可能)	
対象学年	■ 小学校低学年 ■ 小学校高学年 ■ 中学1年 ■ 中学2年 ■ 中学3年	
同時対応可能人数	■ 1学級(約40人まで) □ 複数学級同時対応可 □ その他:()人まで 備考: 参加者全員にお土産の配布がありますので、事前に人数をお知らせ下さい。	
授業時間	約 45 分 備考:	
授業内容	<p>ペットボトルキャップを回収して途上国のワクチン支援を推進する活動をされている学校が多いと聞きます。しかしなぜキャップを回収するとワクチン支援につながるか、生徒さんたちはご存じでしょうか？身の回りにあるプラスチック製品(ゲーム機の本体やプラモデル)は、射出成形という手法で作製されます。回収されたキャップはこの射出成形の原料になるため、リサイクル業者の買取費用がワクチン支援になります。こうした流れについて実演を交えて解説をしながら、リサイクルやSDGsの重要性を理解してもらい、さらに工学にも関心を持ってもらうことが授業の目的です。実演の部分では裁断したペットボトルのキャップを、射出成形で新しい製品へと生まれ変わらせる様子を紹介します。(下記リンク先の動画をご参照ください)。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>https://www.youtube.com/watch?v=h9-kHqyi4Vg</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>回収したキャップ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>白キャップのみ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>射出成形で作製した鉛筆と金</p> </div> </div>	
教室、設備等	対応可能な教室形態	<input type="checkbox"/> 通常教室 ■ 理科室 <input type="checkbox"/> 情報端末室 <input type="checkbox"/> 体育館等 ■ その他: プラスチックが焦げる匂いがあるため換気ができる部屋が望ましい
	必要な設備等	■ プロジェクターとスクリーン <input type="checkbox"/> パソコン: 台 <input type="checkbox"/> 水道 ■ その他: 長机(可能であれば固定された実験機)
	備考:	聴覚や嗅覚が敏感な生徒さんがいる場合、内容を調整するため要事前相談
派遣講師数	2名 (1回あたり、授業に出向く人数)	
担当者(所属学科)	◎高山雄介(機械工学科), 樋口雅人(機械工学科), 岡本邦夫(教育支援センター) ※ ◎は主担当	